

|                |  |                     |                            |       |                    |
|----------------|--|---------------------|----------------------------|-------|--------------------|
| 学校<br>教育<br>目標 | 「わくわく トライ 大口台」   |                     |                            |       |                    |
|                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら進んで学び続ける子</li> <li>・相手を思いやり、自分を大切にできる子</li> <li>・心身ともに健康でたくましく生きる子</li> <li>・人やまちとのつながりを大切にし、ともに未来をつくる子</li> </ul> |                     | 【知】<br>【徳】<br>【体】<br>【公・開】 |       |                    |
| 学校<br>概要       | 創立 66 周年   | 学校長 平原 智美           | 副校長 大賀 教晶                  | 2 学期制 | 一般学級: 12 個別支援学級: 2 |
|                | 児童生徒数: 349 人   | 主な関係校: 神奈川中学校・白幡小学校 |                            |       |                    |

|                                   |              |  |
|-----------------------------------|--------------|--|
| 教育課程全体で<br>育成を目指す資質・能力            | 神奈川中<br>ブロック | 小中一貫教育推進ブロックにおける<br>「9年間で育てる子ども像」と具体的取組  |
|                                   |              | 神奈川中学校<br>大口台小学校<br>白幡小学校  |
| 「課題解決力」<br>「自尊感情」<br>「コミュニケーション力」 |              | たくましく社会を生き抜いていく子ども<br><br>目指す資質・能力を基盤に、学習への積極的な参加、適切な言語表現、確実な知識・技能の定着を図る。また、礼儀や規範意識を身につけ、自他へ思いやり、やさしさを行動に表せるようにする。さらに、地域に暮らす者として自覚と責任のある行動と感謝の気持ちをもてるようにする。<br>○課題解決能力 ○自尊感情 ○コミュニケーション力 |

|                |   |
|----------------|---|
| 中期<br>取組<br>目標 | ○全教職員が学校経営に主体的に参加し、活力と魅力あふれる学校づくりを推進します。  |
|                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・対話的、主体的で深い学びが実現できる教育活動を充実させ、子どもの学ぶ力、生きる力の向上を図る。</li> <li>・望ましい人間関係のもと、人とのコミュニケーションを大切にし、他者を尊重する態度と、自己肯定感や自己有用感を育てます。</li> <li>・継続的、計画的に体力向上の取組、健康教育の実践を図ります。</li> <li>・家庭・地域・関係機関との連携を図り、社会に開かれた学校づくり・安全安心の学校づくりを進めます。</li> </ul> |

| 重点取組分野                   | 具体的取組  |
|--------------------------|--|
| 生きてはたらく知                 | ①児童が授業で得た知識を、発信・発表する活動を多くし、主体的に学習に取り組むことができるようにする。②多様性を肯定的にとらえ、様々な考えを受け入れ、発展させる意識を育む。③継続して計算・漢字の基礎学力の向上を図る。そのための自己学習の仕方を指導していく。                      |
| 担当 学習指導部                 |  |
| 豊かな心                     | ①道徳の取組を文書やHPでアピールし、保護者の理解を促す。②わくわくトライ活動では、各学年でのめあてを明確にし、充実させていく。③地域や商店街、盲特別支援学校などの交流を通して、様々な人の立場の思いに触れ、自分たちができていることをしていこうとする心を育てる。                   |
| 担当 道徳部                   |  |
| 健やかな体                    | ①運動委員会と連携して密を避けた運動を紹介し実践することで、体力向上、運動の習慣化を図る。②体育協会と連携し、リズムダンストレーニングを行う。③R-PDCAサイクルに基く課題と成果をもとに、子どもにとって必要感のある取組を、特別学校保健委員会で設定し運営する。                   |
| 担当 体育部                   |  |
| 児童指導                     | ①児童の実態に応じて、Y-P(子どもの社会的スキル横浜プログラム)やSST(ソーシャルスキルトレーニング)を道徳や各教科の授業で行い、年間を通じて継続した実践をする。②携帯電話やスマホの利用、犯罪や問題行動について、学校、関係機関、家庭と連携した授業を行う。                    |
| 担当 児童指導部                 |  |
| 特別支援教育                   | ①特別支援を必要とする児童の個別の指導計画を作成し教職員の共通理解を図る。②適切な支援・指導の必要に応じ、関係機関との連携を図る。③校内研修で教職員の特別支援教育への理解を深める。④学習に遅れがある児童に対し特別支援教室でのきめ細やかな指導を行う。                         |
| 担当 児童指導部                 |  |
| 自分づくり教育                  | ①「総合的な学習の時間」を中心に、地域と関わりながら学ぶ機会や年間を通じた異学年交流を適切に設け、他者とのかかわりの中で一人ひとりの自己有用感を高める。②学年に応じた地域の材と関わる学習活動を年間計画に位置付け、学ぶことや働くことの意義を考える場を設定する。                    |
| 担当 生活・総合部                |  |
| 地域連携・<br>学校運営協議会         | ①学校・地域コーディネーターと協働し、外部の力の効果的・効率的な活用方法を検討し、より豊かな教育活動へとつなげる。②学校運営協議会による評価、アドバイスをもちに、新しい生活様式での学校の現状と課題について、学校、保護者、地域が協働して教育活動を進める。                       |
| 担当 専任・副校長                |  |
|                          | c8   |
| 担当                       |  |
| いじめへの対応                  | ①児童の情報を全職員で共有し、いじめの早期発見と早期対応・家庭や関係機関との連携を確実に行う。②いじめの起きにくい風土の醸成に努め、児童と教職員が挨拶や気持ちのよい言葉遣いに取り組む。③人権の立場に常に立ち、いじめ、偏見、差別をなくすための授業を行う。                       |
| 担当 児童指導部                 |  |
| 人材育成・<br>組織運営<br>(働き方改革) | ①5年以下の教職員でメンターチームを組織し、ミドルリーダーを中心に年7回の活動をし、5年以下の教職員とミドルリーダーの育成を図る。②学校運営会議を月1回開催し、学校運営を組織的に行う。③引き続きグループウェア等を活用し、情報の共有化を図る。「電子申請システム」を活用し事務の簡便化、効率化を図る。 |
| 担当 メンター研・副校長             |  |